学校番号	１０８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探求	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選「古典探求」　（大修館書店）						
副教材等	必携　古典文法（明治書院） 必携　古典文法　準拠ノート　精選版（明治書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生の「言語文化」の授業の中で、古文作品や漢文の入門を通して、古典と現代日本語のつながり方やかかわり方を学びました。また、古文の物語を読んで、古文世界への興味も持てたことと思っています。２年生では、より複雑なストーリーを持った、漢文を含む古典の物語を読んで、さらに古典世界に近づくことが目的です。
・文章そのものも古典文法等も、１年生よりも格段に高度になりますが、１年生で学んだ基礎を大切にして、あきらめることなく学習に取り組んでもらいたいと思います。
・予習の仕方やノートの取り方などは、担当者の指示に従ってください。

2　学習の到達目標

より高度な物語性を持った古典作品を読むことにより、古典世界のおもしろさに触れ、我々の祖先が抱いていた生活感覚を知り、歴史と古典の接点を楽しめるようになることを目指す。
⑴　歴史の流れの中で古典作品が生まれたことを理解し、当時の人々の考え方や行動原理を知る。
⑵　文法的知識を基礎に、古典を論理的に解釈する力を伸ばし、古今の日本語への理解を深め、日常会話の語彙に奥行きを生成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、古典作品をとおしてその特質を理解し、適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会性ｋつにおける他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	古典を通して積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、古典世界への認識を深めようとしているとともに、古典作品を通して言語感覚を磨き、日常会話に通じる語彙を育成する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	古典世界に触れる―説話― ［教材］ 「大江山」 『十訓抄』	a:話の筋道が理解できる。 b[読]:文章の内容や構成、展開などについて、叙述を元に的確にとらえ、平安時代の宮廷の雰囲気を理解する。 c:進んで文章全体を捉え、文章解釈のために必要な活動を行う。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	古典世界に触れる―日記― ［教材］ 「源氏の五十余巻」 『更級日記』	a:古典の世界により親しむため、必要な文法的知識を身に着ける。 b[書]:古文を解釈するために、逐語訳することができる。また、逐語訳から自然な日本語への返還を行い、物語世界を理解する。 c:積極的に古典の理解を深めようとする。また、自分で工夫して理解をしようとする。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	世界的名作に触れる―物語― ［教材］ 「若紫」 『源氏物語』	a:平安貴族の生活様式や、男女間に存在する習慣を理解する。また、古文の敬語表現を理解する。 b[読]:主人公がどのように女に近づき、どのような感情を抱いたのかを理解する。また、当時と現代の生活習慣の違いを読み取る。 c:舞台となっている平安時代に関する知識を積極的に取り入れ、物語を読むための基礎とする。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	古代中国に触れる―史書― ［教材］ 「鴻門の会」 『史記』	a:漢王朝成立の経緯を、歴史的知識として、また、中国の古典が現代日本語に与えた影響を理解する。 b[書]:古代中国の物語を、ストーリーを楽しむことができる。また、漢文を日本語に置き換えて、日本語として理解する。 c:中国歴史上の英雄を、自分なりに具体的イメージの中に作る。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	古文と歴史の接点に触れる ―歴史物語― ［教材］ 「花山院出家」 『大鏡』	a:歴史上のできごとが文学となり、作品がそのまま歴史的資料となることを知る。 b[読]:古文を自力で解釈する。その際、表現上の工夫や正確な場面描写を試みる。 c:進んで物語の世界観を理解する。他の歴史的できごとが文学となっている例を調べる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２４　）時間

・読むこと　…　（　４６　）時間